

イチゴ「ゆうやけベリー」の育苗時における窒素施用量

福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科

1 部門名

野菜－イチゴ－施肥法

2 担当者名

武藤健男、柳内柚香

3 要旨

本県育成イチゴ品種「ゆうやけベリー」の育苗時の適正な窒素施用量は明らかにされていない。そこで育苗時の窒素施用量が生育に及ぼす影響について試験した結果、窒素施用量は 180 mg/株あれば十分な生育が確保できると考えられた。

(1) 定植時のクラウン径の目安（3寸ポット、クラウン径9～11mm）を確保できるのは、窒素を 180mg/株以上施用した時であった。

(2) 窒素施用量は 180mg/株より増やしてもクラウン径に差は認められなかった。

表1 育苗時窒素施用量が生育に及ぼす影響

	育苗時 窒素施用量 (mg/株)	定植時	
		草丈 (cm)	クラウン径 (mm)
2022年	60	10.0	7.9
	120	15.9	8.8
	180	17.2	9.6
2023年	180	16.8	11.0
	230	15.9	10.6
	280	15.8	11.2

注：育苗用培土は、ピートモス：パーミキュライト：鹿沼土＝1：1：1＋苦土石灰(粉)0.1kg/ℓを使用し、3寸ポットに充填後、鉢受けした。
鉢受け後に緩効性肥料(商品名:マイクロングートル(280-70))を施用した。

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル野菜・花き新品種の育成〔福島県産農産物競争力強化事業(研究)〕

5 主な参考文献・資料

なし